

飲食店等における県産農林水産物の消費回復・拡大支援業務

項目	審査の視点	配点
1 県内飲食店・宿泊施設等における キャンペーンの実施 【45点】 県産農林水産物の消費拡大のため、地産地消推進及び県産水産物需要喚起に取り組む飲食店・宿泊施設等において、県産農林水産物を使用したキャンペーンを開催する。	(1) キャンペーンの実施	
	① 手段の的確性 イ 申請者(参加店舗)向けの説明会の開催時期は適切か。また、感染症対策に留意した開催方法となっているか。 ロ キャンペーン開催時期や期間の設定は的確か。 ハ 飲食店等へのキャンペーン募集の働きかけの方法は的確か。 ニ 効果的な広報・宣伝媒体が提案されているか。 ホ キャンペーン期間中に安定的に県産農林水産物を仕入れられるよう参加店舗をフォローする提案がなされているか。 ヘ キャンペーン終了後のアフターフォロー体制は適切か。	10点
	② 内容の的確性 イ 消費者にとってキャンペーンのキャッチコピーやストーリーについての提案が魅力あるものとなっているか。 ロ 地産地消と県産水産物の両方を訴求する内容となっているか。 ハ 地産地消の推進と県産農林水産物の消費拡大に資する内容となっているか。 ニ PR資材は、参加店舗へ誘客するようなデザイン性の優れたものとなっているか。 ホ 事業の成果を高めるために効果的な工夫及び独自提案がなされているか。	15点
	(2) 特典企画の実施	
	① 手段の的確性 イ 特典の内容、当選者数の設定は的確か。 ロ 利用しやすい応募フロー・アンケートとなっているか。	10点
	② 内容の的確性 イ 参加店舗への利用誘客を図る提案がなされているか。 ロ 応募者数を増やす提案がなされているか。	10点
2 宮城県産農林水産物需要喚起支援 事業補助金に係る事務関係業務 【45点】 発注者が補助金を適切に交付できるよう、問い合わせ対応、申請書類の審査業務等を行う。	(1) 事業実行力 イ 仕様書及び交付要綱等とおおり、事業を実施できる体制が整っているか。 ロ 作業スケジュールは適切か	20点
	(2) 手段の的確性 イ 申請書類の確認を適切に実施し、二重チェック等により正確に業務を遂行するための仕組みが確立されているか。 ロ 申請者(参加店舗)の個人情報適切に管理できるような仕組みが確立されているか。	15点
	(3) 内容の的確性 イ 申請者(参加店舗)が適切に申請書類を作成できるよう、支援できる体制が整っているか。 ロ 申請者(参加店舗)の利便性を考慮した対応がとれるか。	10点
3 包括的事項 【10点】	(1) 事業実行力 イ 全体を進行管理する体制が整っているか。 ロ 全体を通じての作業スケジュールは適切か。	5点
	(2) その他 イ 1及び2の事業間の連携の工夫があるか。 ロ 効果測定の方法及び成果指標は適切か。 ハ 特に評価できる点があるか。	5点

(100点満点)